

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

普通科新学科通信

No.14 令和5年3月15日発行 発行 探究科設置準備委員会

3月7日・8日に実施した他校との交流事業について、概要を報告いたします。

1 和歌山県立橋本高等学校とのオンライン交流

日時：3月7日（火）15:25～16:15

1月に視察させていただいた橋本高校からお声かけをいただき、橋本高校2年生と本校普通科1年生がオンラインでの交流を実施しました。橋本高校・湖陵高校とも5グループが参加し、グループ毎に自己紹介から交流が開始されました。発表生徒以外は各教室で交流の様子を見学しました。内容は以下のとおりです。

（1）橋本高校生徒の発表と質疑応答

橋本高校はユネスコスクールに指定されており、その中で「SDGsの達成を視野に入れた学習」を年間を通して実施しています。

2年生はSDGsの目標について課題を設定し探究活動を行っており、その成果を発表し本校生徒と質疑応答を行いました。



（2）本校生徒の発表と助言

2年生での探究活動のテーマ設定を終了したところで、テーマ設定の理由や今後活動計画について発表し、橋本高校の生徒からの質問や助言を受けました。

（3）自由交流

発表後は、学校生活のこと、それぞれの地域のことなど短い時間ではありましたが、グループ毎に自由に話題を出し合い、楽しく話し合いができた様子でした。

橋本高校は、高野山の麓に位置しており世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や地域の文化財等に関する学習もしています。今回は、初めての交流ということで、7校時を活用して小グループ・短時間の実施でしたが、これをきっかけに次年度以降も交流事業が継続できるよう、検討を重ねていきたいと考えています。発表生徒の選出や会場の準備等、1学年とSSH推進部の先生方に多くのご協力をいただき、この交流事業を終了することができました。

2 京都市立西京高等学校との交流

日時：3月8日（水）8:45～10:30

京都市立西京高等学校は、1年生が3月5～10日の5泊6日の日程で、国内フィールドワークとして「北海道・東北・中部・瀬戸内・北九州・南九州・沖縄」の7コースに分かれて研修旅行を実施しています。昨年11月に本校校長と進路指導部長が学校視察をしたのがご縁で、今回の交流が実現しました。北海道コースの生徒60名と先生3名が、来校されました。

（1）講演会

演題 「くしろよろしく～釧路の歴史と産業」

講師 釧路新聞社代表取締役社長 星 匠 様

本校の卒業生でもあります星匠様に講演していただきました。自己紹介、北海道の広さや釧路湿原と自然環境についてから、お話が始まりました。釧路の3大産業（漁業・鉱業・製造）をクイズ形式を交えて解説していただきました。釧路港で水揚げされる魚種や漁獲量、太平洋炭礦や釧路炭田のお話、製紙工場の変遷など詳細な説明がありました。さらに、釧路振興局管内の発展の歴史、酪農に関して、釧路と京都を結ぶものなどについて、多くの事例を交えて講演していただきました。

西京高校の生徒が釧路を知ることだけでなく、湖陵高校の生徒にとっても改めて釧路を見直す機会となったのではないのでしょうか。



（2）探究成果交流会

西京高校の探究発表のテーマは「私たちが残したい・伝えたい流水の価値」で、これは、今回のフィールドワークに際して知床大学院大学設立財団に設定していたき、出発前に探究活動に取り組んだそうです。3月6日に財団の方にプレゼンテーションを実施し、その中から4グループが本校で発表しました。



流水の自然的価値や観光的価値に着目し、流水がもたらす豊かな自然の恵みについて、それらを維持するための環境保護について、流水を活用した地域観光の活性化に関する方策などに関して、それぞれのグループが探究成果を発表しました。

質疑応答では、本校生徒から流水を身近に感じて生活している視点からの質問などがあり、短時間ではありましたが意見の交換ができました。

